

ONE  HEART



長野市災害復興計画 令和2年度までの進捗状況について

長野市企画政策部
復興局復興推進課



1 河川の復旧状況【総括】

令和3年3月31日現在

管理者	河川名	地区	箇所数	進捗状況 (R3.1.1)	進捗状況 (R3.3.31)	備考
国	千曲川	長沼(復旧)	1	完了	完了	決壊箇所70mの復旧延長140m
		長沼(強化)	1	76%	完了	残り上記箇所の上下流 420m
		篠ノ井塩崎(復旧)	1	完了	完了	軻良根古神社付近
		篠ノ井塩崎(強化)	1	R2.11月着手	-	令和3年出水期前の完了予定
県	浅川	豊野	4	完了	完了	
	三念沢	豊野	1	完了	完了	
	赤野田川	若穂	3	完了	完了	
	保科川	若穂	4	50~95%	完了	
	蛭川	松代	1	完了	完了	
	神田川	松代	1	完了	完了	
	藤沢川	松代	1	95%	完了	
	岡田川	篠ノ井	1	50%	完了	
	聖川	信更	3	80~90%	完了	
	犀川	信更	1	65%	完了	
市	高岡川	若穂	1	35%	45%	令和3年度中の完了予定
	唐沢川	若穂	1	完了	完了	
	銅山川	松代	1	完了	完了	

1-1 千曲川の堤防強化状況（長沼穂保・津野）

【千曲川：穂保地区・津野地区】

- ・穂保地区の決壊箇所を含む上下流区間(延長560m)における堤防復旧及び強化工事が完了
- ・引き続き堤防強化工事を下流側へ200メートル延伸中。川側のり面の被覆工事を完了



1-2 千曲川の堤防強化工事（長沼穂保・津野）

堤防強化工事を下流側へ200メートル延伸中。現在、川側のり面のコンクリートによる被覆工事が完了
本工事区間を含む立ヶ花～村山橋間(約7km)の堤防強化工事を令和5年の出水期までに完了予定

■川側のり面



■上部

追加延長 L=200m



■上流(上流側を望む)



■上流(下流側を望む)



堤防上部の余盛と県道整備により堤防高は、穂保地区では約90cm、
その他の地区でも数10cm被災前の堤防と比較して高くなる

1-2 千曲川の堤防強化工事（篠ノ井塩崎）

【千曲川: 篠ノ井塩崎地区】
川側のり面について、コンクリートによる被覆工事が完了。今年の出水期までに完成予定



1-2 千曲川の堤防強化工事（篠ノ井塩崎）

【千曲川：篠ノ井塩崎地区】

川側のり面について、コンクリートによる被覆工事が完了。

施工延長 L=690m

■川側のり面



■堤防上部

R3.4.24



堤防上部の余盛と道路整備により堤防高は、被災前の堤防に比較して約45cm高くなる。

■上流部



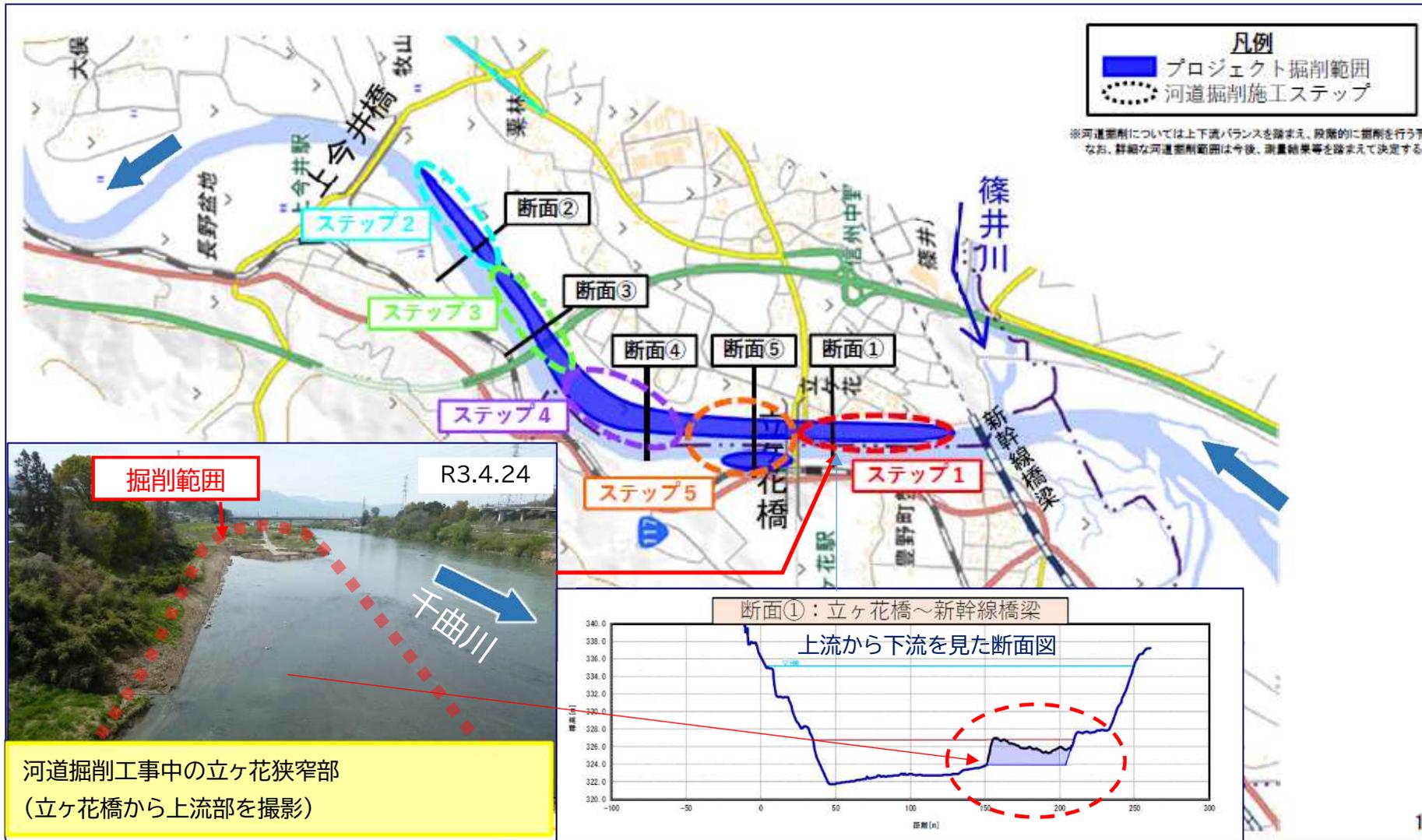
■住宅側のり面



堤防上部～のり尻強化部の間は、今後コンクリートによる被覆を実施する予定

1-3 立ヶ花狭窄部の河道掘削（中野市立ヶ花）

令和2年2月22日よりプロジェクトの一環である立ヶ花・戸狩狭窄部の掘削が開始しました。河道掘削を行う範囲を段階的に広げていき、上流に位置する立ヶ花狭窄部のせき上がりを受けている範囲において、令和元年東日本台風規模の洪水を計画堤防高以下で流下させる（R9年度末まで）



河道掘削工事中の立ヶ花狭窄部
(立ヶ花橋から上流部を撮影)

1-4 浅川・三念沢の復旧状況 (県管理河川)

令和元年東日本台風災害で被災した市内における県管理河川については、令和3年3月末に全て完了

写真提供:長野建設事務所

浅川 (豊野)



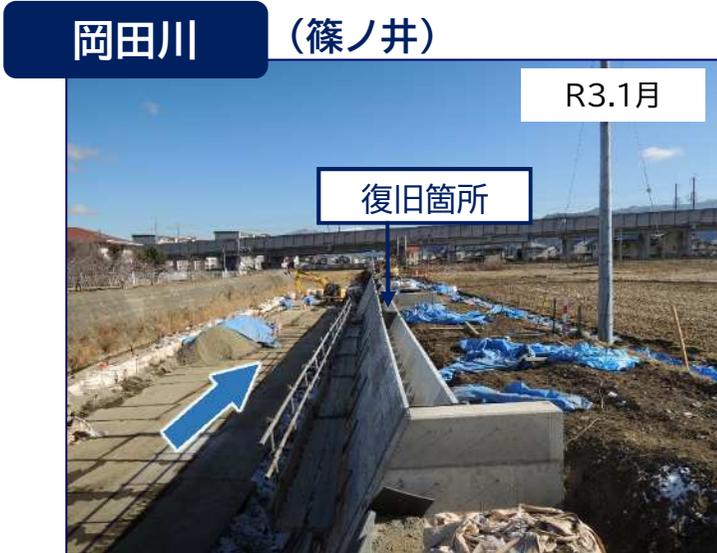
三念沢 (豊野)



1-4 岡田川・聖川の復旧状況 (県管理河川)

【岡田川】護岸の復旧が進み3月末に完了
【聖川】被災した3か所の復旧工事が2月末に完了

写真提供:長野建設事務所



1-4 保科川・神田川の復旧状況 (県管理河川)

【保科川】被災した4か所全ての護岸の復旧が3月末に完了



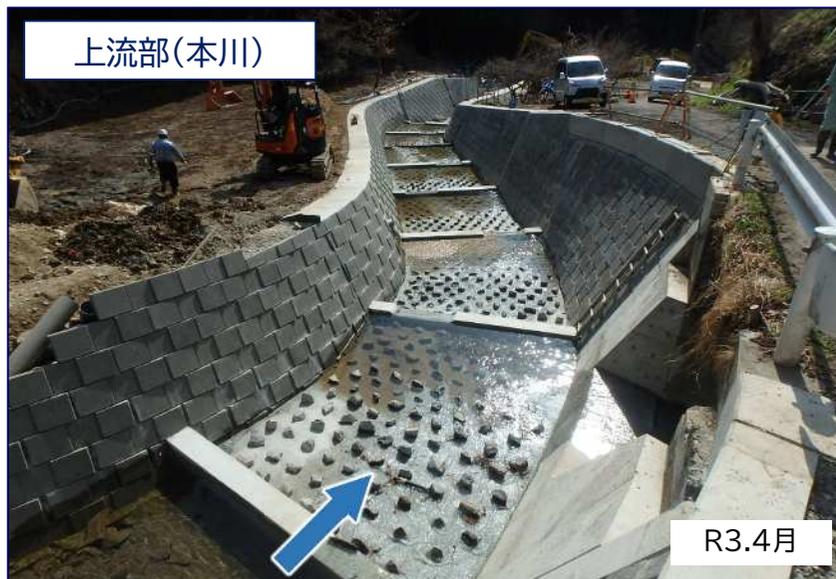
護岸の復旧が完了、切り欠け部には大型土のうを設置して水防



R3.4月、鉄橋の撤去が完了。令和3年6月中旬までに左右岸の切り欠け部にパラペットを設置予定

1 - 5 高岡川の復旧状況 (市管理河川：若穂保科)

- ・全復旧延長 1,561mを3つの工区分けて復旧中
- ・各工区において精力的に工事の進捗を上げ、令和3年度中に全区間が完了する予定



2 排水機場・雨水ポンプ場の復旧状況【総括】

災害復興計画／1-3-1治水・治山対策

12

令和3年3月31日現在

管理者	施設名	所在地	ポンプ能力	進捗状況(%) (R3.1.31)	進捗状況(%) (R3.3.31)	ポンプ能力 復旧率	備考
長野平 土地改良区 (市八管理委託)	浅川第一排水機場	小布施町	14.0 m ³ /s	30%	35%	7%	R4.3月本稼働
	浅川第二排水機場	小布施町	30.0 m ³ /s	85%	85%	100%	本稼働
	長沼排水機場	長沼	16.5 m ³ /s	60%	85%	100%	R3.4月本稼働
市	大道橋排水機場	豊野	0.2 m ³ /s	100%	100%	100%	本稼働
	赤沼雨水ポンプ場	長沼	1.8 m ³ /s	90%	100%	100%	本稼働
	三念沢雨水ポンプ場	豊野	1.36 m ³ /s	80%	100%	100%	本稼働
	沖雨水ポンプ場	豊野	3.66 m ³ /s	90%	100%	100%	本稼働
	小森第一排水機場	篠ノ井	17.0 m ³ /s	90%	95%	100%	本稼働

※ポンプ能力復旧率：仮設備による復旧を含めた従前のポンプ能力に対する復旧率

- ・概ね3月末までに復旧工事が完了、出水期を前に機器類の調整及び試運転を実施中
- ・浅川第一排水機場は、現在、新しい排水機場の基礎工事を実施中

- ・浅川第一排水機場のポンプ能力不足分については、既存農業用ため池を利用した流出抑制対策によりおよそ4割を補完

- ・浅川第三排水機場(ポンプ能力14.0m³/秒)は、浸水被害を受けたがポンプの排水機能には影響なし。

2-1 排水機場・雨水ポンプ場の復旧状況

出水期を前に機械や設備の調整、試運転を実施中

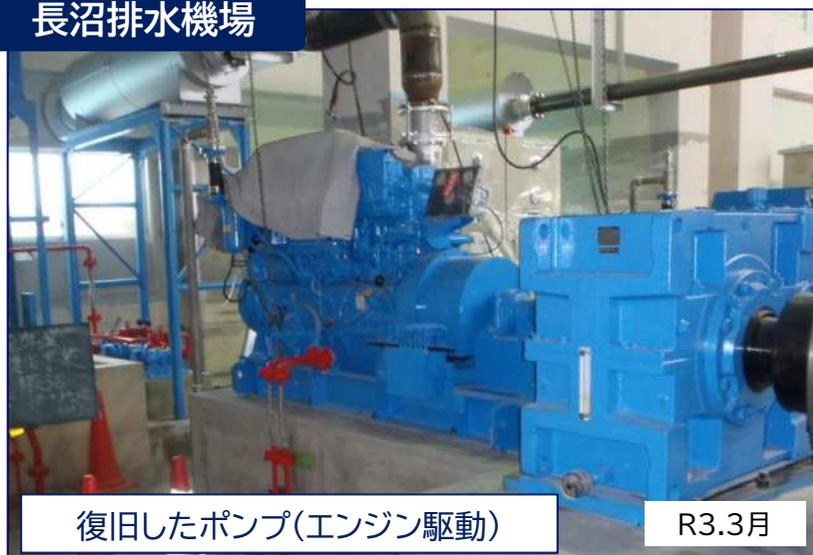
浅川排水機場



赤沼雨水ポンプ場



長沼排水機場



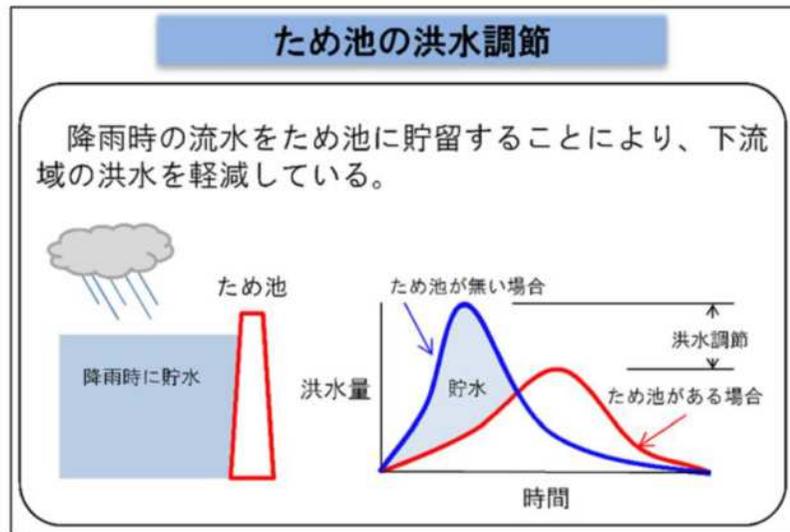
三念沢雨水ポンプ場



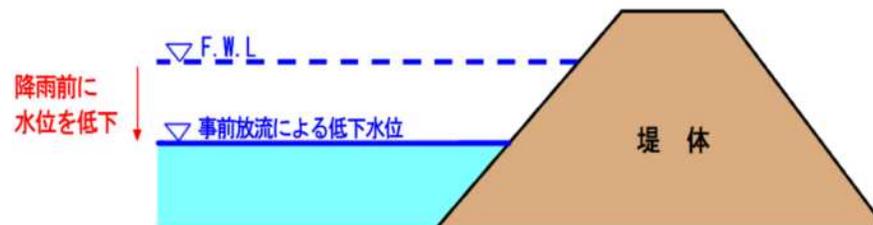
3 既存農業用ため池を利用した流出抑制対策

支川の流出抑制の取組として、浅川流域にて、関係者と調整の上、次の調整可能量を確保

【調整可能量】 ため池 18箇所 : 約489,000m³



降雨予測等を基にため池の貯留水を事前に放流し、空き容量を確保する



事前放流イメージ

出典:ため池の洪水調節機能強化対策の手引き
(農林水産省 農村振興局)



浅川大池



若槻大池

- 長沼地区、若穂地区、篠ノ井地区の道路復旧は令和3年3月までに全て完了

篠ノ井地区



長沼地区



若穂地区



5-1 公園・遊園地（浸水被害等）の復旧状況

災害復興計画/1-2-1生活インフラ・ライフライン等の整備

16

【公園・遊園地 20箇所】公園施設の復旧は令和2年6月までに完了

山崎公園



北野公園



5-2 公園・遊園地（浸水被害・災害廃棄物仮置き場）の復旧状況

17

災害復興計画/1-2-1生活インフラ・ライフライン等の整備

【赤沼公園】公園施設(芝生地以外)の復旧は令和3年4月までに完了

【公園・遊園地 4箇所】公園施設の復旧は令和3年3月末までに完了

赤沼公園



豊南町遊園地

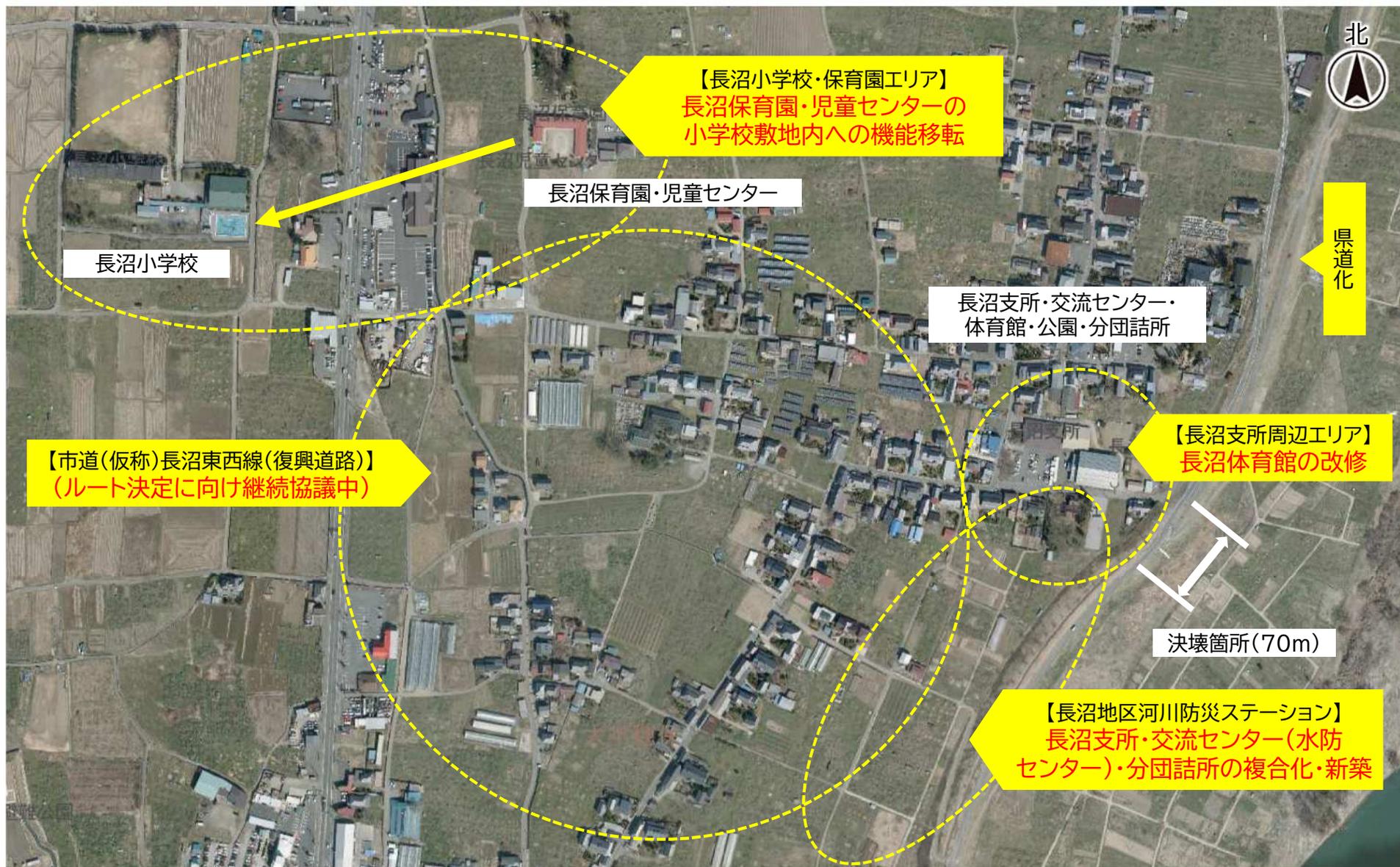


6-1 長沼地区公共施設等整備 ① (全体図)

災害復興計画/1-2-1生活インフラ・ライフライン等の整備

18

- 長沼地区河川防災ステーション、長沼支所周辺エリア、長沼小学校・保育園エリアについては、整備基本方針決定
- 市道(仮称)長沼東西線(復興道路)については、ルートを地元と調整中



長沼地区河川防災ステーションの整備イメージ図(全体図:平常時)

■ワークショップでのご意見を踏まえた全体イメージパース図を国・長野市と連携し、作成。



・R3.3.18 「長沼地区河川防災ステーション」整備計画 登録承認

・R3.4.16 登録伝達・確認書調印式実施

長沼地区河川防災ステーションの整備イメージ図(拡大図・平常時利用状況)

- ① =土砂備蓄ヤードは多目的に利用可能な広場として整備し、平常時には開放。
- ②・③=アプローチとして法面にスロープ・階段を設置。
- ④ =複合施設(長沼支所)、災害対策車輛庫を整備。
- ⑤・⑥=復旧資材備蓄スペース。
天王宮は盛土上の現在位置に復元。



①土砂備蓄ヤードの利用状況(長沼城の土塁も表現)
子供の遊び場、キャンプ、バーベキュー など



②支所へのアクセス(歩道スロープ)
※バリアフリー対応



③広場へのアクセス
(長沼城跡正門の復元イメージ)



④複合施設(長沼支所)・災害対策車輛庫



⑤復旧資材備蓄スペース



⑥天王宮の復元イメージ

※詳細は地元の皆様とご相談させて頂きながら進めます

7-1 豊野地区公共施設整備① (全体図)



1 事業効果
 豊野地区を中心としたエリア年間約500件の救急出動
 及び各種災害対応の時間短縮

2 整備拠点
支所及び消防コミュニティーセンターを活用
 ・人口集中地で平時の消防・救急需要に効果的
 ・大規模災害時支所・自治協・消防団との連携に効果
 ・既存施設活用により、最小の経費で最大の効果

支所エリア ➡行政機能の拠点
 防災交流センターエリア ➡地域活動の拠点

3 組織体制等
 ・鶴賀消防署の分署に位置付け (管轄区域の条例改正)
 ※現行豊野地区は鳥居川消防署管轄
 ・消防車、高規格救急車を配置

4 整備費用
 概算164,000千円 (改修工事・車両等整備)
 緊急消防援助隊登録部隊配置による緊防債活用

5 整備計画
 令和3年1月～ 実施設計
 令和3年6月～ 改修工事・車両購入
 令和4年5月1日 業務開始

東北部の消防体制



既存消防コミュニティーセンター改修
 (夜間待機室・滅菌室整備)



豊野支所内事務室設置



【概要】

構造:鉄筋コンクリート造

規模:4階建て

整備戸数:73戸

延べ床面積:約4,300㎡

間取り:1DK、2DK、
2LDK、3DK

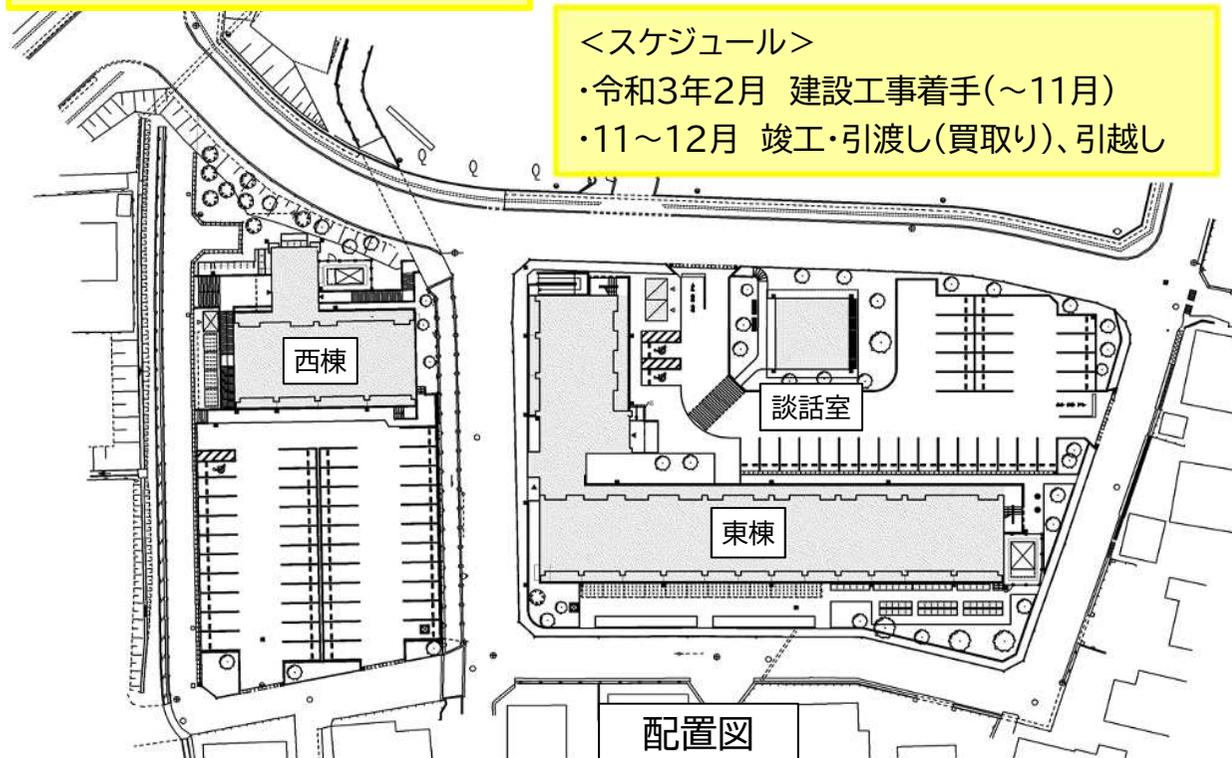
【仮申込み状況】

	1DK	2DK	2LDK・3DK	合計
提供戸数	24戸	33戸	16戸	73戸
申込数	25戸	57戸	28戸	110戸
辞退数	7戸	13戸	12戸	32戸
過不足数	6戸	▲11戸	±0戸	▲5戸

※別途5戸確保済み
(既存美濃和田団地)

<スケジュール>

- ・令和3年2月 建設工事着手(～11月)
- ・11～12月 竣工・引渡し(買取り)、引越し



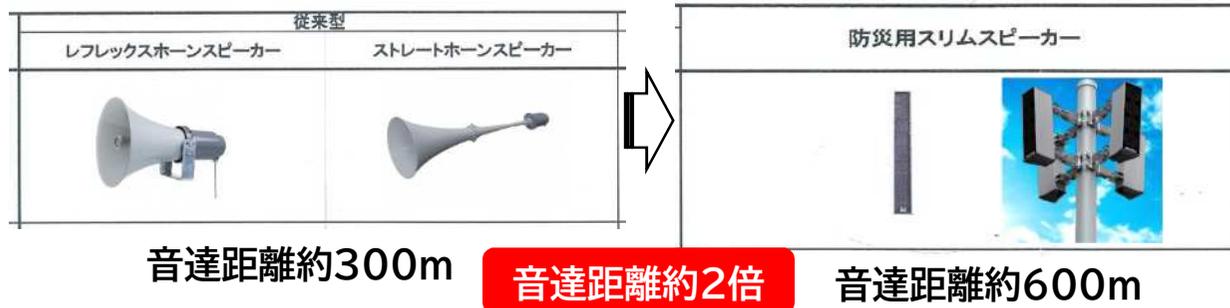
防災行政無線(同報系)デジタル化整備事業 令和3年9月完了予定

令和2年度末までの進捗

74.6%

整備済み基数369基／整備予定基数494基

※整備予定基数は変わる可能性があります。



長野市防災ナビ 令和3年4月運用開始

防災行政無線デジタル化整備事業の一環として構築。

防災行政無線の放送内容の確認

- ・ 放送内容を、音声再生とメッセージテキストで確認できる。

災害の危険性の確認

- ・ 土砂災害警戒区域、浸水想定区域を確認できる。

指定緊急避難場所の確認

- ・ お近くの指定緊急避難場所を確認できる。(避難所の開設状況を示すものではない。)

安否情報の登録

- ・ 安否情報の登録を設定することで、災害時に家族や知人の安否情報を確認できる。

次のURLか二次元バーコードからダウンロードできます。

<https://www.city.nagano.nagano.jp/soshiki/kikibousai/466755.html>



9-1 生活再建支援・見守り支援等 ①

災害により居住用住宅が全壊するなど、生活基盤に著しい被害を受けた世帯に対して支援金を支給

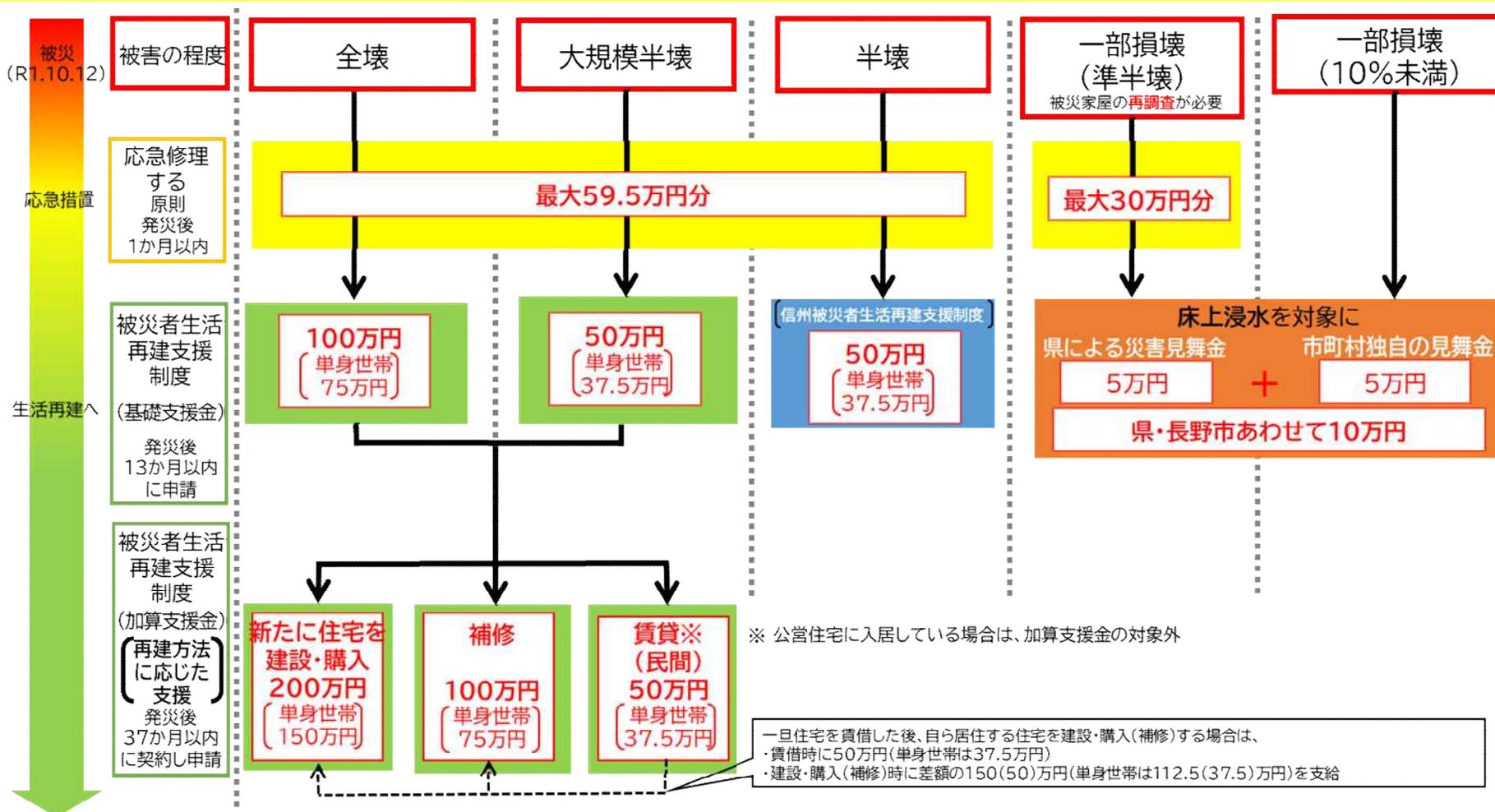
【支給件数】 ※いずれも令和3年3月31日現在

被災者生活再建支援制度<全壊・大規模半壊対象> 2,425件(加算支援金985件を含む)

信州被災者生活再建支援制度<半壊対象> 1,321件

長野県・長野市災害見舞金<半壊未満の床上浸水> 364件

※被災者生活再建支援制度(基礎支援金)の申請期間については、令和3年11月11日へ延長



市被災者見守り支援担当職員、「長野市生活支援・地域ささえあいセンター」、関係機関等が連携して被災者支援を実施

【支援件数】 延べ8,645件(令和元年12月～令和3年3月)

基礎情報 (R3.3月末)		支援類型別支援件数 (延べ：R1.12月～R3.3月)				
支援対象	対象世帯数	訪問件数	電話	来所	その他	計
建設型仮設	60	1,757	129	6	247	2,139
みなし仮設	384	3,235	657	17	501	4,410
公営住宅等	68	1,300	140	14	252	1,706
在宅	73	246	29	8	107	390
計	585	6,538	955	45	1,107	8,645

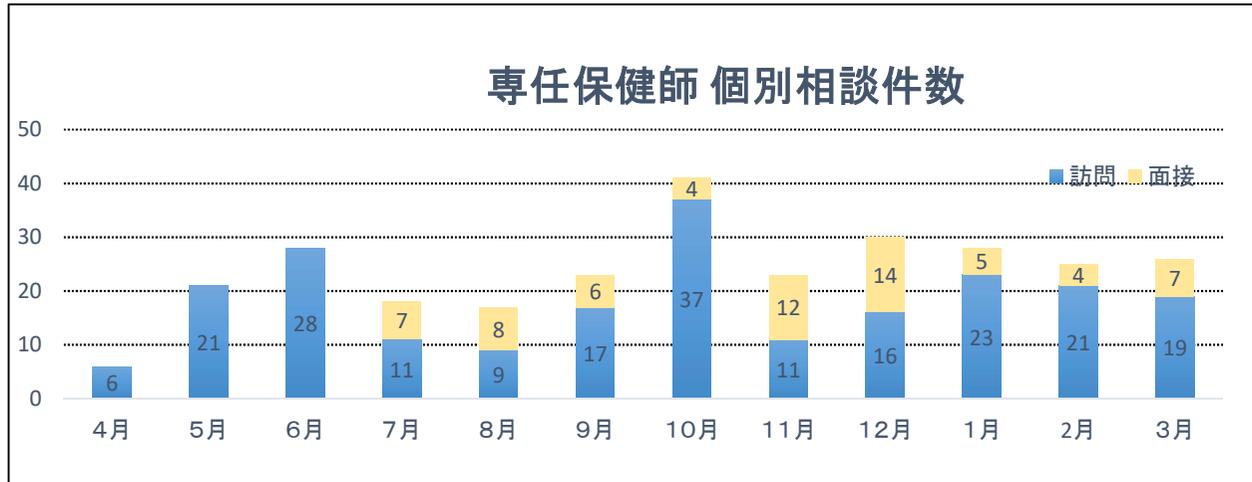


基礎情報	相談内容								
	居住関係 (再建)	健康・医療関係	家族関係	就労関係	居住関係 (仮設)	介護・福祉関係	経済面	その他	計
建設型仮設	262	285	160	57	51	66	17	488	1,386
みなし仮設	1,344	552	509	212	101	127	69	929	3,843
公営住宅等	379	178	142	52	65	75	9	352	1,252
在宅	107	42	51	15	11	25	3	103	357
計	2,092	1,057	862	336	228	293	98	1,872	6,838

保健師による相談

保健師による相談(延べ件数)

(1) 専任保健師相談件数(建設型仮設住宅入居者)



【主な相談内容】

- ・自身の健康(身体、精神)について
- ・ストレスについて
- ・家族の健康状態について
- ・家族との関係について
- ・退去後の生活について
- ・災害公営住宅について 等

(2) 地区保健師相談件数(被災者全体)



【主な相談内容】

- ・治療中断者等への受診支援
- ・精神的な不安に対する支援 等

- 被災地域におけるコミュニティの維持・再生や、災害関連地域の復興及び活性化に向けた活動を支援するため、住民自治協議会に対し、「復興支援金」を交付
- 地域コミュニティ活動の拠点となる被災した地域公民館の早期復旧に向け、地元負担を軽減するため、教育委員会(家庭・地域学びの課)で交付する地域公民館建設等事業補助金の交付を受けた地域公民館を対象に、地元負担分に対し「地域公民館災害復旧支援金」を交付

復興支援金の状況(令和3年3月末現在)

<単位:千円>

被災地区			建設型仮設住宅設置地区		
地区名	交付額	主な事業	地区名	交付額	主な事業
長沼	3,521	防災備品等整備、交流イベント等	第二	24	交流イベント
豊野	3,360	区費減免分補助、備品購入、修繕等	古里	90	交流イベント
古里	710	防災物品購入、広報誌作成等	支援金交付実績 11,281千円		
篠ノ井	1,920	防災通信システム整備、防災マップ作成等			
松代	1,136	まつしろ復興応援秋まつり負担金			
若穂	520	記録集編纂、防災通信システム導入			

地域公民館災害復旧支援金の状況(令和3年3月末現在)

対象地域公民館 17館(長沼:6館、豊野:3館、篠ノ井:4館、松代:3館、若穂:1館)
 支援金交付実績 35,356千円

- 公費解体については、令和3年3月末時点で申請に対して約87%の解体撤去が完了。今後も申請者の要望に応えながら、令和3年8月までの解体撤去完了を目指す。
- 自費解体については、令和3年1月末までに申請に対する償還を完了。

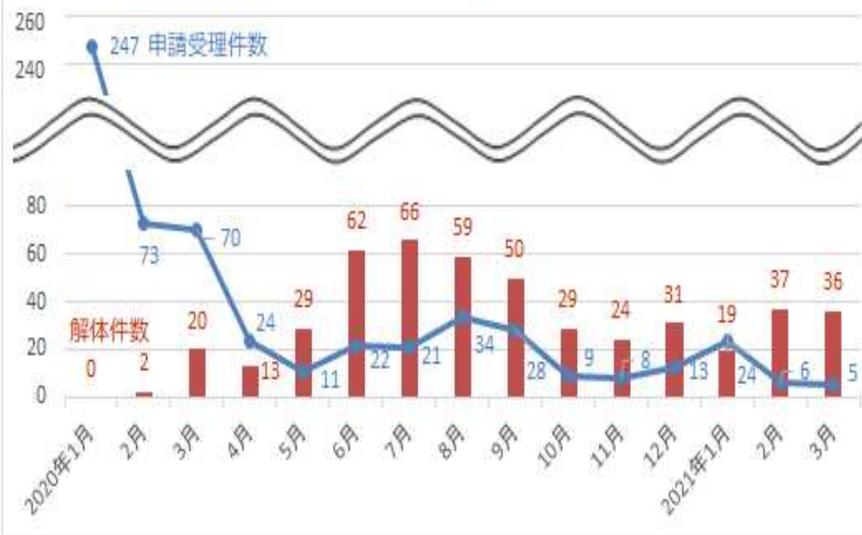
公費解体

市が所有者に代わって家屋等の解体・撤去を実施

申請件数:546件／解体件数477件(令和3年3月末現在)

申請受付期間：令和2年1月10日～令和3年5月28日
(期限延長)

【申請受付と解体状況の推移】



※申請件数(546件)＝申請受理件数(595件)－申請取下げ件数(49件)

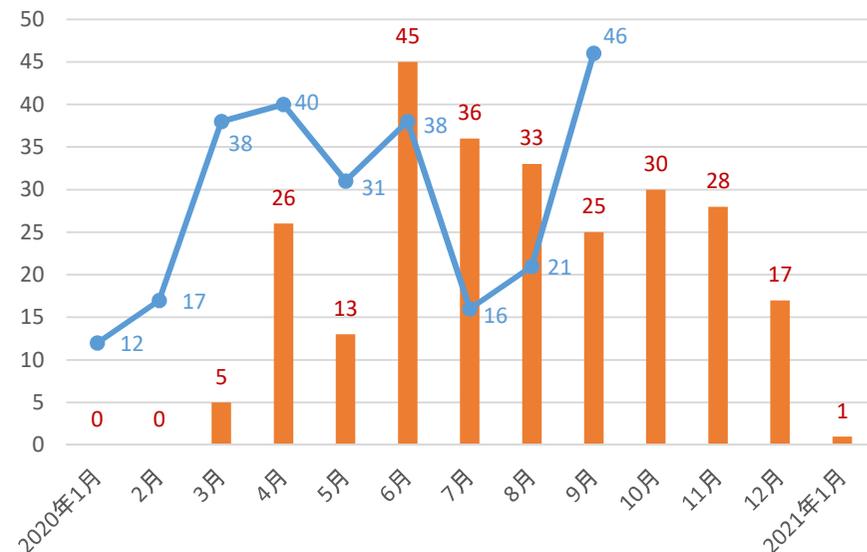
自費解体

所有者が既に実施した家屋等の解体・撤去工事について、要した費用の全部または一部を市が償還

申請件数:259件／償還件数259件(最終:令和3年1月21日)

申請受付期間：令和2年1月10日～令和2年9月30日
※契約期限は令和2年6月30日まで

【申請受付と償還状況の推移】



【応急仮設住宅】

令和3年3月末現在で、471戸、約1,100人が市内外の応急仮設住宅に居住

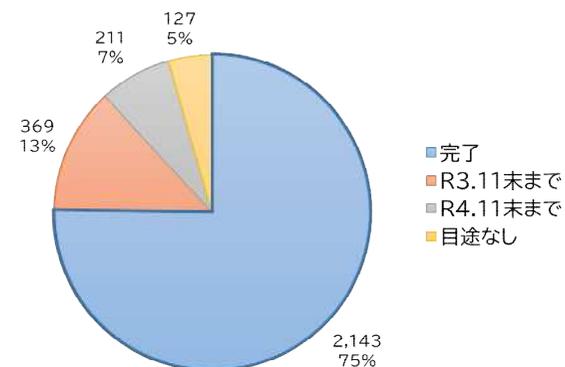
【住宅再建】

被災した半壊以上の世帯(約2,850世帯)で令和3年11月末までに住宅再建が完了見込みの割合は88%

【応急仮設住宅等の入居状況の推移(単位:戸)】



住宅再建の状況(被災から1年半)



建築士が現地調査や技術的なアドバイスを行う個別相談、様々な分野の専門家が一堂に会して相談に応じる住宅再建関連総合相談会及びセミナー方式の住宅再建講習会を実施

【建築士による現地調査を伴う個別相談】

実施時期	実施団体	実施件数
随時（令和元年11月～令和3年3月末時点）	県建築相談連絡会・県・市	101

【住宅再建関連総合相談会】

回数	日時	場所	内容	実施団体	参加組数
1	2月21日(金) 14:00～19:00	豊野支所	住宅と建築物に関する総合相談会	県建築相談連絡会・県・市	24
2	3月5日(木) 14:00～19:00	篠ノ井総合市民センター			7
3	4月26日(日) 10:00～14:00		カビに関する講演会・相談会		中止
4	5月16日(土) 10:00～15:00	豊野支所	住宅と建築物に関する総合相談会		11
5	7月11日(土) 10:00～15:00	豊野公民館			19
6	9月12日(土) 10:00～15:00	柳原交流センター			14
7	10月24日(土)10:00～15:00				18
8	12月19日(土)10:00～15:00				19
9	2月13日(土) 10:00～15:00				14
合計					126

【住宅再建講習会(相談含む)】

実施日	場所	内容	実施団体	参加組数
7月30日(木) 8月1日(土)・6日(木)・8日(土)	昭和の森公園フィットネスセンター・市役所市民交流スペース・柳原交流センター・篠ノ井総合市民センター	「被災住宅の復旧」 新築・改修時のポイントと 資金計画について	県建築相談連絡会・県・市	25

住宅再建に向けて意向確認等を実施してきた結果、住宅の再建方法を決めているものの供与期間内に応急仮設住宅を退去できない世帯があることから、災害救助法による救助の特別基準の設定について協議を行い、国から同意が得られた。

1 延長対象者(要件)

- (1) 自宅の再建は決まっているが、道路改良工事等の災害関連復旧事業の関係などにより自宅再建が間に合わず、供与期間内に退去できない者
- (2) 自宅の再建は決まっているが、建設業者の工期等の関係で自宅再建が間に合わず、供与期間内に退去できない者
- (3) 災害公営住宅への入居を希望しているが、当該住宅の建設等の工期の関係から供与期間内に退去できない者

2 供与する期間(入居延長期間)

- ・最大で令和4年10月11日を超えない期間

3 延長対象世帯(見込)

約150世帯

※今後の状況により変動あり

4 今後の対応予定

- ・延長要件の該当有無について、再建の意向を確認し、個別に判断を実施
- ・延長要件に該当しないものの供与期間内に退去困難な世帯に対し、個別に支援

(1)補助制度について

補助制度の活用については、被災者支援LINE、広報ながの、長野市復興だよりに記事掲載を行った他、市ホームページでも周知を行った(いずれの補助制度も令和2年度で終了)。

グループ補助金



- 【補助内容】 被災中小企業の建物・機械設備の復旧に対する補助
直接被害のあった中小企業 補助率3/4、上限15億円
- 【申請数】 長野市関連の認定数 16グループ257事業者

被災小規模事業者再建事業(持続化補助金)



- 【補助内容】 被災小規模事業者の事業再建に要する費用(復旧・販路拡大等)に対する補助
直接・間接被害を受けた小規模事業者 補助率2/3、上限200万円
- 【申請数】 申請事業者数 199事業者

長野県地域企業再建支援事業補助金



- 【補助内容】 被災中小企業者の経営立直しと事業再建・再構築に要する費用に対する補助
直接・間接被害を受けた中小企業者 補助率3/4、補助額200~3,000万円
- 【申請数】 交付決定者数 38事業者

長野市被災中小企業者支援事業補助金



- 【補助内容】 被災中小企業者の経営立直しと事業再建・再構築に要する費用に対する補助
直接被害を受けた中小企業者(小規模事業者除く) 補助率3/4、上限200万円
- 【申請数】 申請事業者数 31事業者

(2)被災中小企業の営業再開状況及び補助金等支援策の活用状況

ア 営業再開状況【被災中小企業 476社】

営業再開済	458
(現地で営業再開済み)	(439)
(他の場所で営業再開済み)	(19)
廃業※	18
合計	476

※「廃業」の考え方

- ✓市や商工会議所・商工会等に廃業の連絡があった者
- ✓電話で連絡が取れない者のうち、現地で営業をしていない者(建物解体済等)で、公開されている情報で営業が確認できない者

イ 市以外の支援策等の活用状況(重複回答)

- ・保険金 144社
- ・中小企業等グループ補助金(国・県) 139社
- ・被災小規模事業者持続化補助金(国) 123社
- ・制度資金 79社
- ・長野県地域企業再建事業補助金(県) 30社 など

※被災企業476社に対し、事業再建に資する国、県等の補助金の申請状況や今後の活用意向、復旧状況等の調査を令和2年6月26日から7月15日の間に実施。
調査結果を踏まえ、長野県、商工会議所及び商工会の協力のもと、適宜訪問や電話により補助金の活用を案内するとともに、復旧状況を把握したものの。

融資制度(長野市中小企業振興資金融資制度)

被災中小企業者の資金繰りを支援するため、市融資制度の災害関連資金の金利引き下げや、資金の借換需要にも対応できるメニューを設けて運用。

災害対策資金

【貸付対象者】 災害、異常気象等により被災した中小企業者等で罹災証明書の交付を受けた者

【貸付内容】 限度額：[設備]3,000万円 [運転]3,000万円

利率：年0.80% ← 改正前 年1.50%

期間：[設備]10年以内 [運転]5年以内

据置期間：1年以内

【申請状況】 27件(令和3年3月31日現在)

経営安定特別資金(災害関連対策)

【貸付対象者】 経営の安定に支障が生じている中小企業者等で、次のいずれかに該当する者

- セーフティネット保証4号認定者
- 災害に起因して売り上げが減少している、罹災証明書の交付を受けた者

【貸付内容】 限度額：[運転]5,000万円 ※他の経営安定特別資金との合計額

利率：年1.50% ← 改正前 年1.80%

期間：7年以内(借換えに限り9年以内)

据置期間：2年以内 ← 改正前 1年以内

【申請状況】 25件(令和2年3月末現在)

災害関連資金に係る利子補給

市融資制度の災害関連資金に関し、令和元年10月12日から令和3年3月31日までの間に貸付を受けた中小企業者(直接被害を受けた者)の利子について、初回の償還から24月分(2年間分)を補給。

【申請状況】 27件(令和3年3月31日現在)

農地の堆積土砂撤去、農道・用水路の復旧

農地の復旧(堆積土砂の撤去100%完了)

- ・被災農地の土砂撤去・表土復旧 面積:約344ha 申請件数:1,365件 搬出土砂:約20万 m^3

農道・用水施設の復旧

- ・農道 土砂撤去(令和2年2月完了済):325路線、延長約100km
損壊:71箇所(危険箇所から順次着手し令和3年7月完了予定)
- ・用水施設(水路、取水施設等) 損壊:76箇所(令和2年4月概ね完了、一部仮設対応)



水田の堆積土
<被災直後>



ICT重機による排土作業状況
<復旧作業の状況>



復旧した水田の田植えが完了
<復旧完了>

営農再開・継続に向けた支援

●農業用機械・施設の再取得等の助成金実績（令和3年3月31日現在）

区分		申請者数 (人)	件数	補助金額 (千円)
機 械	乗 用 ト ラ ク タ ー	845	323	517,494
	ス ピ ー ド ス プ レ ャ ー		259	1,016,618
	乗 用 型 草 刈 機		347	205,428
	高 所 作 業 機		222	188,457
	そ の 他		3,971	1,018,032
	小 計			5,122
施 設	農 機 具 格 納 庫	333	686	② 1,531,288
	ビ ニ ー ル ハ ウ ス			
	防 霜 フ ァ ン 等			
計				①+② 4,477,317

●被災農地の賃借マッチング【長沼、豊野、篠ノ井、松代、若穂 等】（令和3年4月15日現在）

被災農地(堤内)の所有者に今後の営農意向アンケートを行い、その結果を踏まえて長野市農業公社、農業委員等が連携してマッチングを進めている。

(取組状況) 被災農地 738ha
 貸出希望 34ha (貸付希望割合4.6%)
 借受成立 20.1ha(マッチング進捗59.1%)

令和元年東日本台風被害に対する支援活動を通して築かれた被災者及びボランティア等による人の絆を育むことで、今後の復興を祈念するとともに、防災意識の向上を図りながら、様々な体験や交流を通じて、本市の復旧・復興状況を広く発信し、ボランティア等との関係人口や交流人口の拡大による地域経済の活性化に寄与するため、復興応援事業を実施

- 1 名称** いまこそ応援「がんばろうNAGANO」2020
- 2 運営組織** いまこそ応援「がんばろうNAGANO」2020実行委員会
- 3 実施期間** 令和2年10月3日(土)から11月8日(日)まで(37日間)

① デジタルスタンプラリー 10月3日(土)～11月8日(日)

- ◆利用者数:2,632人 ◆ページビュー数(閲覧数):24,572回
- ◆記念品交換数:611セット



② ドライブスルー物産展 11月7日(土)~11月8日(日)

➤ 復幸(ふっこう)BOX(被災企業の商品や被災地特産品の詰合せ) 販売実績

復幸BOX	7日(土)	8日(日)	合計
3,000円	300箱	300箱	600箱
5,000円	200箱	200箱	400箱
計	500箱	500箱	1,000箱

すべて
完 売

□売上金380万円は、出品した事業者にすべて配分

□ほかに福祉作業所応援1,000円セットを販売 80セット完売



今後の復興を祈念するとともに、被災地の復旧・復興状況を発信し、地域経済の活性化に寄与するため、復興応援事業を継続して実施。今年度は、次世代を担う若者等と協働して多様な方法で情報を発信するほか、隣接する3市町と連携を図り産業の振興と周遊型観光につなげる。

1 名称

がんばろうNAGANO2021

2 運営組織

いまこそ応援「がんばろうNAGANO」2020実行委員会

3 実施期間

令和3年10月1日(金)から令和4年1月31日(月)まで
(123日間・予定)

4 主な事業

1

被災地の今を刻む

パンフレット・スマートフォンサイトでの地域紹介

連携：岡学園トータルデザインアカデミー

2

被災地物産展

被災地企業の商品などを詰め合わせた
復幸BOXの販売

3

被災地の素材を紹介

地域の素材を使った商品・メニューの開発

連携：清泉女学院大学

連携：岡学園トータルデザインアカデミー



1

パンフレット・
スマートフォンサイト

イメージ



2

復幸BOX